100 万人の市民とアーティスト、ビジターが生きる力を育み合う共創の場

SENDAI Music & Performing Arts Center for Lives

災害による未曾有の喪失と死を、私たち＝仙台市民は乗り越えてきた
絶望のどん底で耳にした音楽に、幾度心を揺さぶられたことだろう
音楽は、心のひび割れを癒やし、祈りを遠くへ届け、
たどたどしい歩みに寄り添い、言葉や障壁を超えて、力を与えてくれた

私たちの街のオーケストラ、街頭音楽フェス、
障がい者と共創する音楽祭、多世代がお囃子にのって舞い踊る祭り
音楽や表現に触れ、自ら歌い、踊り、詩を読み、演じ、
多様な人々と語り合えば 生きる力が湧いてくることを体験してきた

【芸術文化×災害文化】を標榜する新しい複合施設は
市民の文化的体験を未来へと拡張し、世界に発信する拠点である
それは、アーティストたちや市民のパフォーマンスを
高品質・高感度で世界に届けるための装置であり
仙台市民とアーティストたちがクロスし、共創し合う場である

あらゆる世代・立場の異なるすべての人を迎え入れ 消費者ではなく、
共創の一員としていくための「あわい」の場を私たちは模索した
それぞれの活動が重なり合い、尊重し合いながら、
新たな創造活動へと発展させる「あわい」は
あらゆる人のニーズに適応する文化施設に必須のものであり
仙台というまちのアイデンティティ、
地域の分母となる文化・精神性を紡ぐ場となるだろう

100万人の市民とアーティスト、そしてビジターが
互いに生きる喜びを交感する場、
その美しき交わりを誘発する「あわい」の場を醸成する建築空間を
私たちは、ここに提案する

●「あわい」を大切に、市民の交感と文化共創のひろばをつくる

この事業のミッションは、文化芸術の「殿堂」でも、災害情報の「アーカイブ」だけでもなく、あらゆる世代が交感し、音楽をはじめとする多彩な文化芸術を通じて、平穏で幸せな日常を脅かす災害を考えることで、世界に発信できる **仙台オリジナルの文化を共創してゆく** ことです。
クローズな空間での表現活動が、時にパブリックな場に開かれたり、多様な活動に参画する人たちが期せずして交流、語り合うことで、新たな視座から思いも寄らぬ景色に出会い自己発見に至ることがあります。私たちは、そんな光景が起こる場を **「あわい」の場** と呼びます。
「あわい」の場 を大切に、この施設をあらゆる市民が恒常的に訪れ、滞留する心地よい場所であり、人々が交感し、音楽（芸術）と災害を考える活動が融合し、**仙台オリジナルの文化が共創される広場【屋外広場＋メモリアル広場】を提案**します。
大小ホールやそのクリエイションを支えるリハーサル室や練習室、アトリエなど、高いクオリティを確保することは大前提としながら、市民、多彩な活動をファシリテイトする人財が互いに交感と共創を育む **【Basement】** のあり方を提案の骨子とします。
私たちは、**この仙台で東日本大震災後の災禍を生き、建築・環境の提案、様々なまちづくりへの提案や、文化芸術活動に携わってきた多彩なチーム**です。
これまでに培った私たちの豊富な経験や知見を存分に活かし、50 年後、100 年後の仙台市の姿を描きつつ、これからの仙台の文化が生まれる環境をみなさんと一緒につくりたいと思います。

「あわい」の場のイメージスケッチ

●ALL 仙台チームの想い

私たちのチームは、**建築の専門家はもちろんのこと、東北・仙台での文化事業やまちづくりの経験・実績と情熱を持ったメンバーで構成され、仙台を拠点にこの地をよく知り、深い愛情を持っています。仙台の次世代のアイデンティティを共創する最適なチームとして、**私たちのチカラと想いでこの事業に貢献したいと思います。

●文化を醸成していく準備フェーズとしての設計プロセス

設計のプロセスは、開館後の運営や、音楽(芸術)と災害文化の融合した活動、文化を醸成していくための準備フェーズと考えます。
仙台フィル関連事業、災害文化やその他文化事業を市民とどのように連携させていくか、周辺地域や商業市街地と連携したまちづくりをどのように進めていくか、この施設での具体的活動をイメージし、ワークショップ等の対話を重ねながら多角的関係性をつくり、使命感を持って運営への貢献、活動のファシリテイトができる人財を育む、設計プロセスを提案します。

●せんだいセントラルパーク構想との連携・連鎖

下の絵は**敷地周辺エリアのアクティビティを描いたもの**で、中には望想も含みますが、ほとんどは市民が既に実現したものです。**設計プロセスでの市民ワークショップ等の対話は、こうした活動の継承**でもあると思います。
私たちの経験を活かした多角的な関係性づくりにより、**このエリアに対する市民の"トポフィリア(場所愛)"の醸成**を図り、市民の連携や連鎖、期待感を盛り上げることに寄与します。

WS❸ みんなで空間をつくり、体験するワークショップ(モックアップ)

段々状の空間や展示の一部を1/1サイズでつくり、ﾃﾞｻﾞｲﾝや使い方を考えます。身体的な体験を通じて、空間を使いこなすカルチャーコミュニケーターの育成にも寄与します。
WSは劇場専門家教授の研究室が主導し行います。

具体例
- みんなで大空間をつくる子どものものづくりWS（GWや夏休み、その他イベント時に開催）
- モックアップの一定期間設置による利用状況の定点調査
- VR空間の体験WS
- 国際センターの大展示室を利用した疑似体験WS
- 東北大建築学科と連携したモックアップづくり
- 地元の地域産材に触れ、地域を知るWS

展示❶ 本計画の情報発信ブースを設置

隣接した国際センター駅に展示ブースを設置し、設計や工事の進捗を発信します。様子を模型やご意見ノートを置くなど、多くの人に興味をもってもらうきっかけをつくります。

具体例
- 国際センター駅1Fインフォメーションコーナーでの、長期間の展示交流及びワークショップ
- 模型の展示＆それを囲んで計画案のディスカッション
- 意見や思いを書き込める大きなマップの展示
- デジタル技術を用いた展示
- 災害文化先行事業受託者(GrannyRideto)と協働した災害文化に関する展示

WS❷ 災害文化を育むワークショップ

市民の方々がそれぞれに思う「災害文化」を引き出し、常設・企画展示の空間の作り方に活かすWSを行います。またWSの過程をアーカイブとして残し、施設の常設展示の一部となることを検討します。

具体例
- 国際センター駅2F青葉の風テラスでの定期的なワールドカフェ形式でのWS
- 音楽イベントと連携したメモリアル演奏会＋WS（定禅寺ストリートジャズフェスティバル、とっておきの音楽祭、せんくら、仙台ゴスペル・フェスティバルなど）
- 土地の歴史や気候変動から学ぶ広瀬川周辺の「災害文化」を考えるWS

WS❹ 周辺施設に出向いて行うワークショップ（アウトリーチ）

多様な施設に出向き、設計の進捗報告やWSを行うことで、仙台市全体で新しい複合施設づくりを盛り上げていきます。施設ができた後、より多くの人に利用してもらえるような種まき活動の一環として行います。

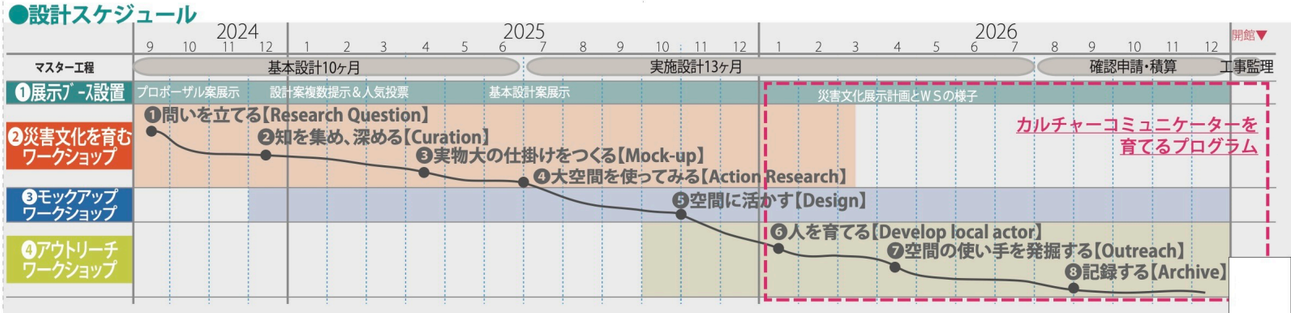
具体例
- イベントへの出張演奏＋WS（定禅寺通、グリーンループ仙台、各区の区民祭りなど）
- 小学校・中学校・高校への出張演奏会＋WS
- 合唱コンクールや演奏会、演劇鑑賞会と連携した出張WS
- 宮城学院女子大学音楽科や常盤木学園高等学校音楽科との連携による演奏会＋WS
- 福祉施設での設計進捗報告＋WS

●エリア全体の活動の連鎖、共創を生み出す

敷地周辺、広瀬川沿いの一体は、「青葉山の野趣に富む自然」と「杜の都・街の緑陰帯」、「仙台城の歴史地区」と「経済・生活圏の市街地」、といった**性格の異なるエリアが交わる仙台の「あわい」の場**であり、博物館や美術館、城跡や植物園、時代の最先端研究をリードする東北大学や多くの高校など、まさに**仙台のアイデンティティを下支えする施設がひしめき合うエリア**です。

私たちは、**このエリア全体を次世代の仙台の文化を生み出すステージ**と一体的に捉えて周辺施設との活動の連鎖、相乗効果を考え、その中での**本施設のあるべき役割と空間づくりを検討します。**
例えば、日常的な人の流れに配慮したり、大きなイベント時の他施設との連携・連鎖を考えたり、大小の「あわい」を丁寧に配することで、人々の交感・交流の機会を増やし、エリア全体での共創の可能性を広げます。

●設計スケジュール



【コスト縮減に関する提案】

●本当に必要なモノを適正なコストでつくる

本事業のミッションは **仙台のｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨを創出し、価値向上を図ること** です。
これに見合った**本当に必要な施設・環境を適正なコストでつくることが本質的なコスト縮減**であると考えます。
対話を基本に必要なものをつくり、「ﾓｯﾀｲﾅｲ」を無くすことを大前提に、ｲﾆｼｬﾙ・ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄに配慮した市民が納得感をもって受け入れてくれる建築提案をします。

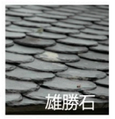
【将来の大規模改修を想定した設計上の配慮】

●中長期修繕計画を作成し改修をイメージする

基本設計のフェーズで**中長期修繕計画をいったん検討、作成し、将来発生する改修工事を予想**します。
このプロセスを踏むことで、改修工事のしやすい対応や準備が明確になり、維持管理も容易な計画を提案することができます。これは**総合的なコスト縮減**でもあると考えます。

● 宮城の地場産材を使った建築文化

宮城ならではの特徴的な建築文化として、東京駅の屋根にも使われている**「雄勝石」**や耐久性、耐火性、防水性に優れたやさしい表情を持つ**「秋保石」**があります。
どちらも生産性や職人継承の問題で厳しい環境下にありますが、本施設で象徴的に活用して**仙台らしさを表現**するとともに、宮城の歴史を繋ぐ**産業を復興する機会**とし、**建築文化継承に貢献**したいと思います。


雄勝石

秋保石